



Interface to the Future
- Solution by Smart Connectivity -

ザインエレクトロニクス株式会社 2025年12月期 第1四半期決算説明資料

2025.05.07

中期経営戦略 2025-27

Innovate100

TODAY'S AGENDA

- 会社概要
- 2025年12月期1QTR業績概要
- 新中期経営戦略「**Innovate100**」
- 当社グループ技術のご紹介

中期経営戦略 2025-27

Innovate100

会社概要

Interface to the Future
- Solution by Smart Connectivity -

“高速情報伝送の世界標準技術等、独自の価値を世界市場に提供”

- 社名 ザインエレクトロニクス株式会社
 (英名: THine Electronics, Inc.)
- 代表者 代表取締役会長 飯塚 哲哉
 代表取締役社長 南 洋一郎
- 創業理念 「人資豊燃」
- 資本金 11億7,526万円
- 創業 1991年5月 (株)ザイン・マイクロシステム研究所)
- 株式公開 2001年8月 東京証券取引所 (スタンダード)
- 事業内容 ミックスドシグナルLSIの設計開発・製造・販売
 AI・IoTソリューション開発・提供、
 AI等データサーバー製品の企画・開発・製造・販売
- 従業員数 129名 (2025年3月末日現在、連結ベース)
 ※ 『健康経営優良法人2025』 認定



事業拠点

韓国 - Korea -



ザインエレクトロニクスコリア
(THine Electronics Korea, Inc.)
韓国ソウル市 2010年3月設立

中国 - China -

賽恩電子香港股份有限公司
(THine Electronics Hong Kong, Co., Ltd.)
2012年11月設立
前海赛恩电子(深圳)有限公司
(THine Electronics Shenzhen, Co., Ltd.)
2013年5月設立
同社上海分公司
2013年10月設立



LSI

東京本社 - Tokyo -

東京都千代田区
1991年5月 創業

AIOT

キャセイ・トライテック(株)
—Yokohama—



Cathay Tri-Tech, Inc. ※2025年7月に
「ザイン・モバイルテック(株)」
に名称変更予定
神奈川県横浜市
2018年12月連結子会社化

台湾 - Taiwan -



哉英電子股份有限公司
(THine Electronics Taiwan, Inc.)
台湾台北市 2000年9月設立

ザイン・ハイパーデータ(株)
—Yokohama—

Server

THine HyperData, Inc.
神奈川県横浜市
2024年6月設立

事業領域

製品・ソリューション

THine LSI 事業

<高速インターフェースLSI>

V-by-One® HS plus

V-by-One® HS

LVDS

Serial Transceiver IOHA:B

光半導体 (VCSELドライバ、TIA等)

<カメラソリューション>

Image Signal Processor

Camera Development Kit



適用アプリケーション例

- ・ 事務機器（複合機（MFP）等）、アミューズメント機器
- ・ カメラ（車載カメラ、セキュリティカメラ、AR/VR、認証用カメラ、手術用カメラなど高精細カメラ）
- ・ 8K / 4Kなど高解像度映像機器、ゲーミング機器
- ・ ドライブレコーダ、EVなどの車載表示装置
- ・ モバイル・PC、シングルボードコンピュータ
- ・ 半導体・液晶ディスプレイ等検査装置
- ・ AI光コンピューティング（データセンター内の光ネットワーク）

AIOT 事業



<通信モジュール>

5G/LTE/NB-IoT

<AI・IoTソリューション>

IoTゲートウェイ/ルータ

AI/IoTソリューション開発



<AIサーバー>

NVIDIA H100 GPU搭載AIサーバー

<データサーバー>

General Server

Smart NIC/Switch



<AI・IoTソリューション事業>

- ・ 通信機能付きドライブレコーダー
- ・ AED（自動体外除細動器）遠隔監視
- ・ IPトランシーバー
- ・ 自動販売機、エレベーター遠隔監視装置、決済端末
- ・ 見守りGPSトラッカー、地域見守りネットワークシステム
- ・ スマートメーター、IoTスマートモジュール
- ・ AI顔認証型体温検知システム、IoT温度監視システム

<サーバー事業>

- ・ ODM/OEMにより日本企業・AI等研究機関にAIサーバー・データサーバーを提供

事業領域

THine グループのビジネス領域

THine商品のユースケース(活用例)

THine商品は世の中の様々な商品・サービスの革新に貢献しています。

**THine Electronics, Inc.**

‘25年12月期1QTR業績のポイント①

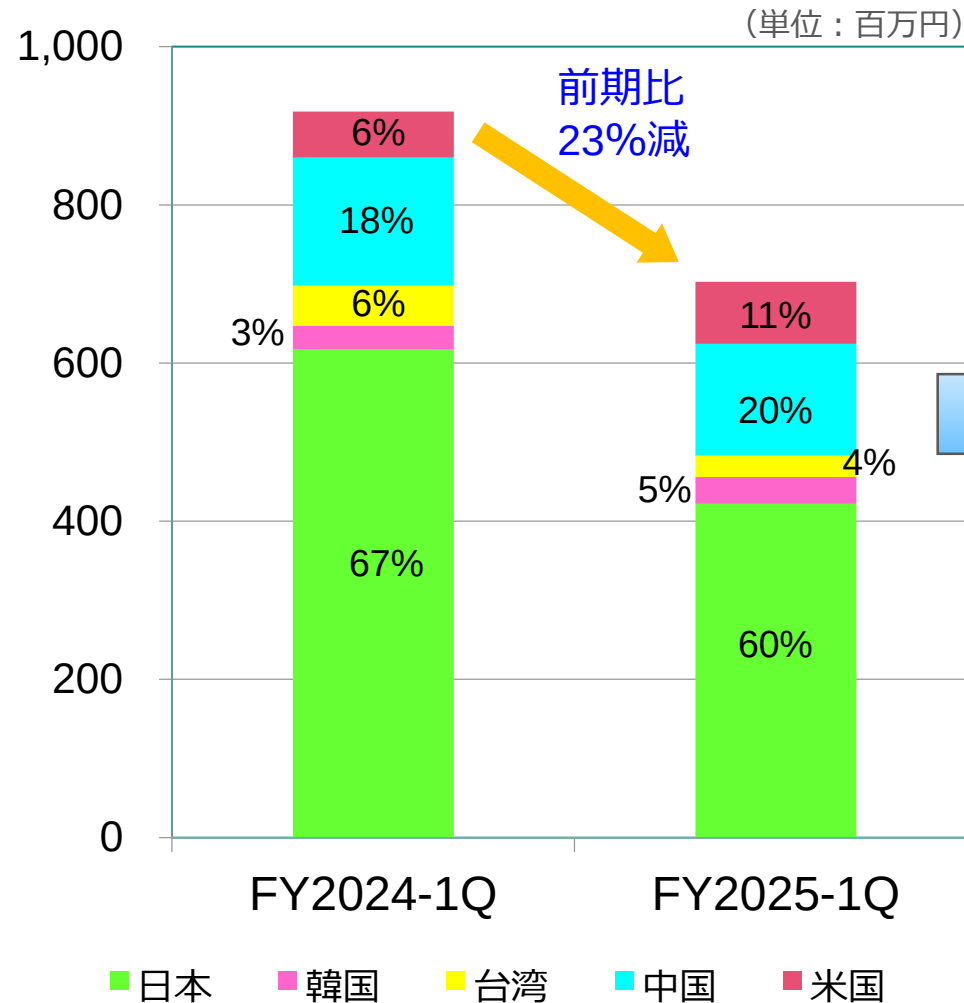
▶ 連結業績概要（2025年1QTR）

（百万円）

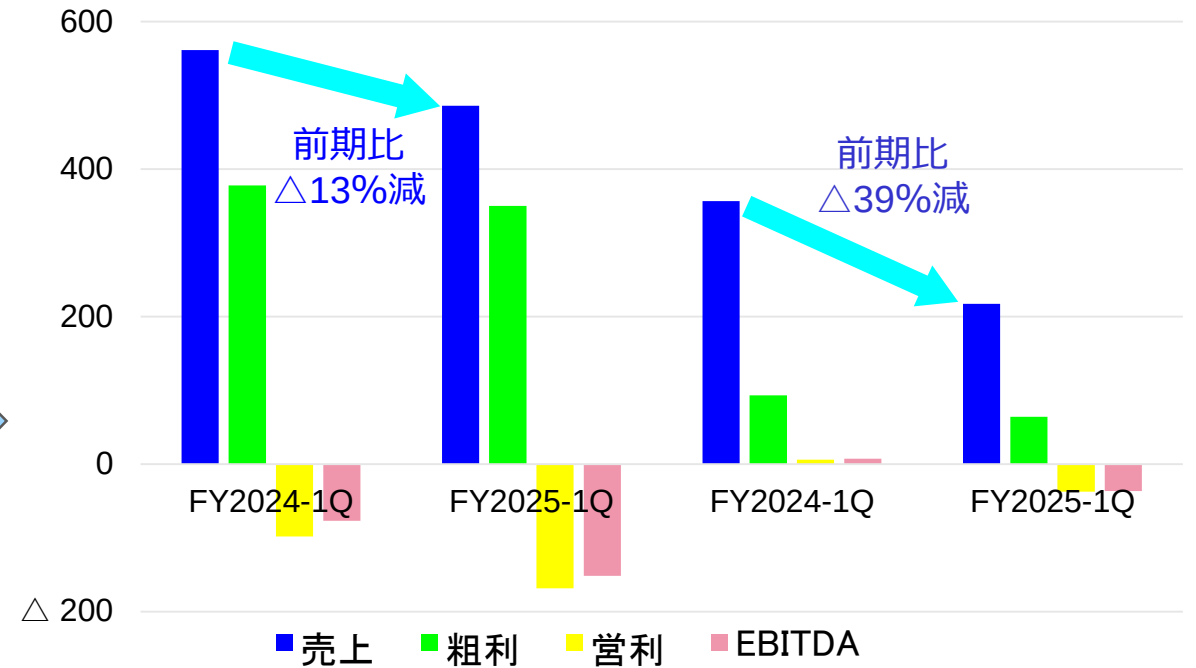
	2025年1QTR			2024年1QTR	
		構成比	前期比		構成比
売上高	703	100.0	76.6	917	100.0
売上総利益	414	58.9	87.9	471	51.3
販売管理費	619	88.2	110.1	562	61.3
（うち研究開発費）	296	42.1	118.2	250	27.3
営業利益	△205	△29.3	—	△91	△10.0
（EBITDA）	△188	△26.7	—	△69	△7.5
経常利益	△343	△48.9	—	42	4.6
参）経常利益（為替差損益を除く）	△206	△29.3	—	△84	△9.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△261	△37.1	—	13	1.5

'25年12月期1QTR業績のポイント②

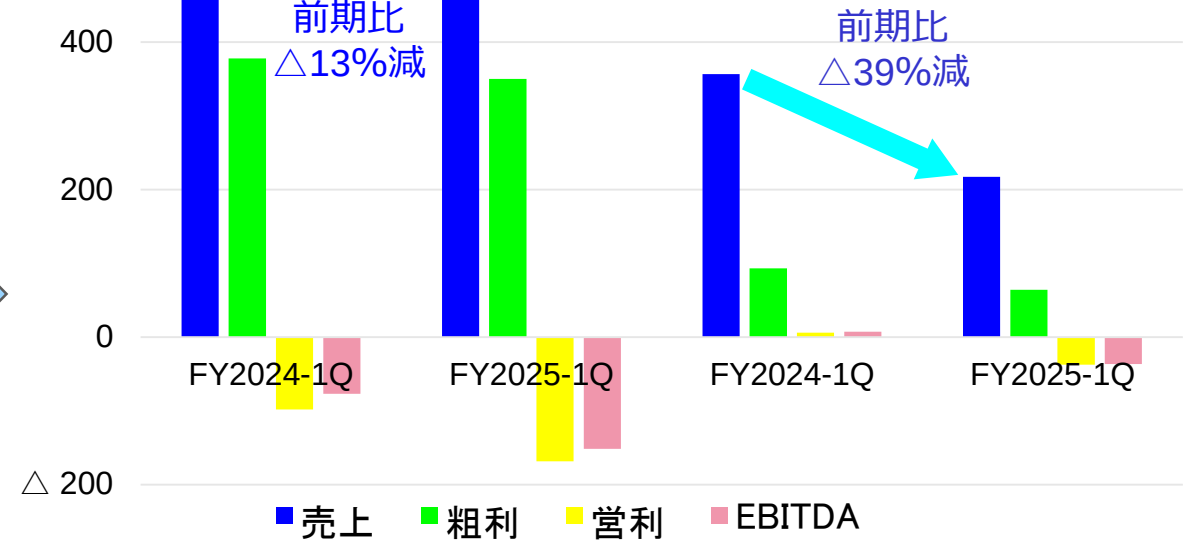
▶ 2025年12月期1QTR売上分析（地域別・セグメント別）



LSI事業



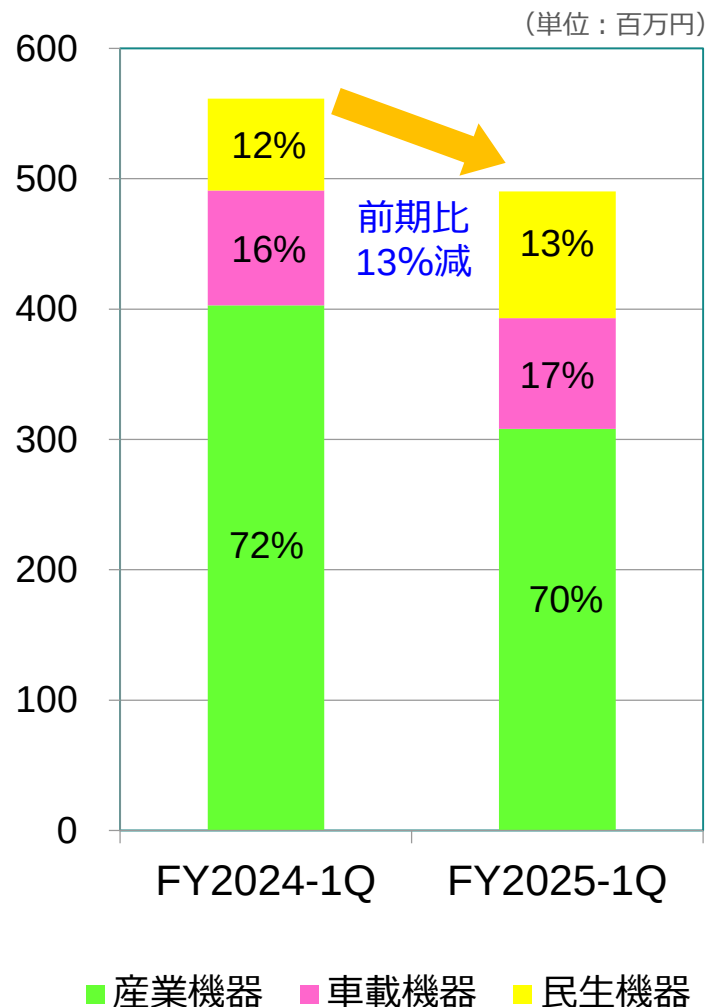
AIOT事業



- ▶ LSIは中国・米国等海外市場で回復基調、国内市場はOA向けは改善もアミューズ向けは依然在庫調整の影響が継続、売上は前期比減収($\Delta 13\%$)。
- ▶ AIOTはAED・エレベータ向け等の通信モジュール製品等の出荷は堅調も自販機向け等で顧客在庫調整による所要大減および前期はスポット案件等もあり前期比減収($\Delta 39\%$)。

‘25年12月期1QTR業績のポイント③

▶ LSI事業売上分析（アプリケーション・市場別）



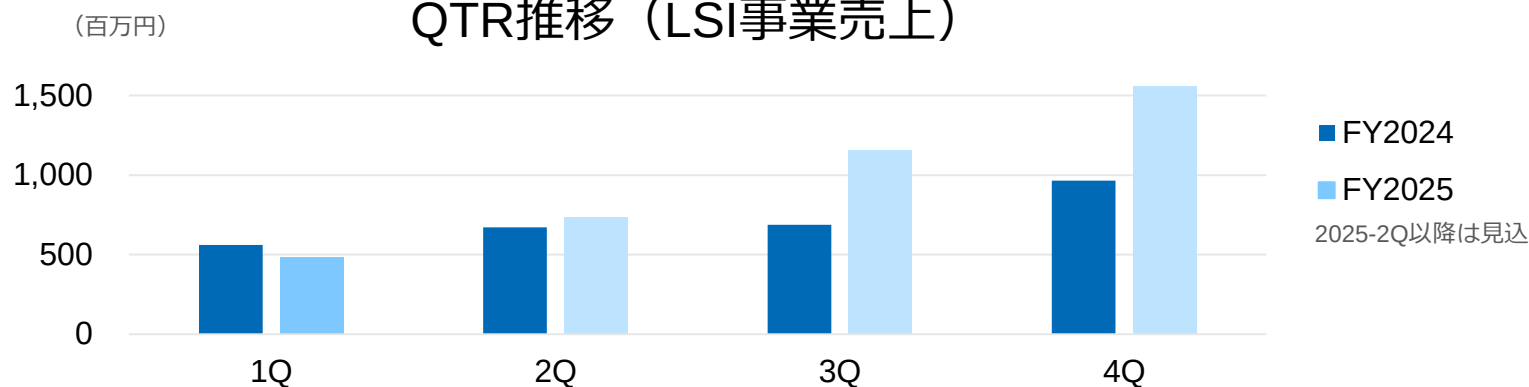
要因分析

産機 売上全体の70%。OA機器向けは回復傾向、アミューズメント機器向けは依然として在庫調整等の影響が継続、産機全体で前期比減(△15%)。OA機器向け(+30%)・アミューズメント機器向け(△54%)・その他向け(△14%)。

車載 売上全体の17%。前期比微減(△3%)。EV向け新製品拡販継続、海外市場向け(中国+10%・米国+28%)は前期比増加。

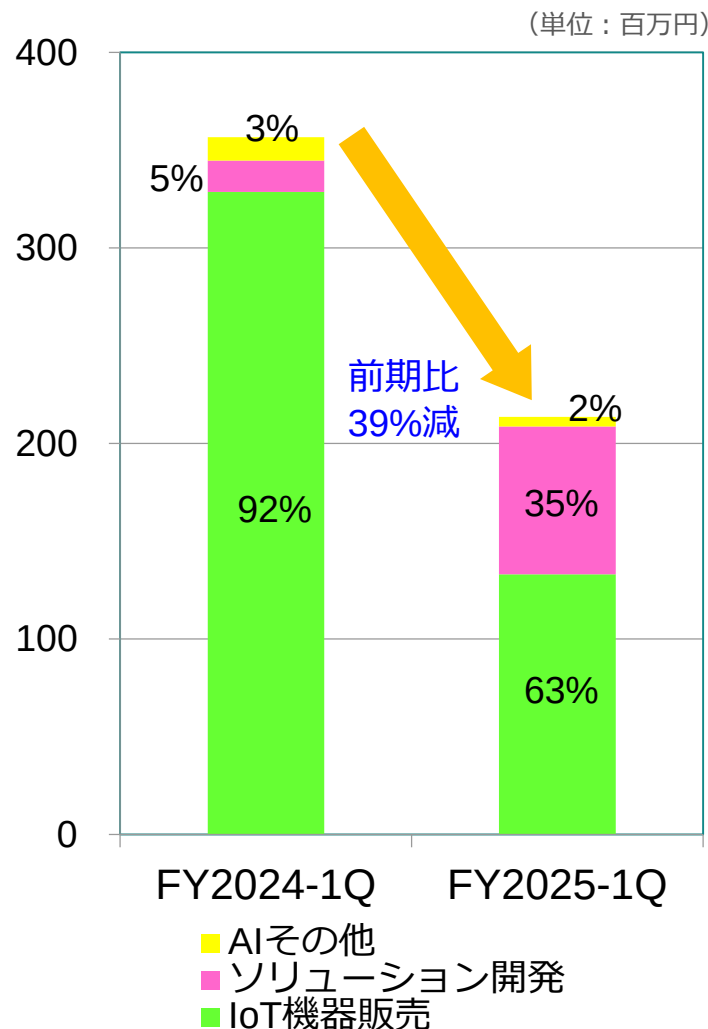
民生 売上全体の13%。前期比減(△12%)。4K/8Kテレビ等ディスプレイ向け情報伝送技術の当社新標準V-by-One®HS plusの提供は順調に進行。

QTR推移（LSI事業売上）



'25年12月期1QTR業績のポイント④

▶ AIOT事業売上分析（売上区分別）



要因分析

IoT
機器

売上全体の63%を占める。AED・エレベータ遠隔監視向け等の製品出荷は堅調も、自販機向け等の顧客在庫調整の影響等により前期比大幅減少(△59%)。

ソ
リ
ユ
ー
シ
ョ
ン
開
発

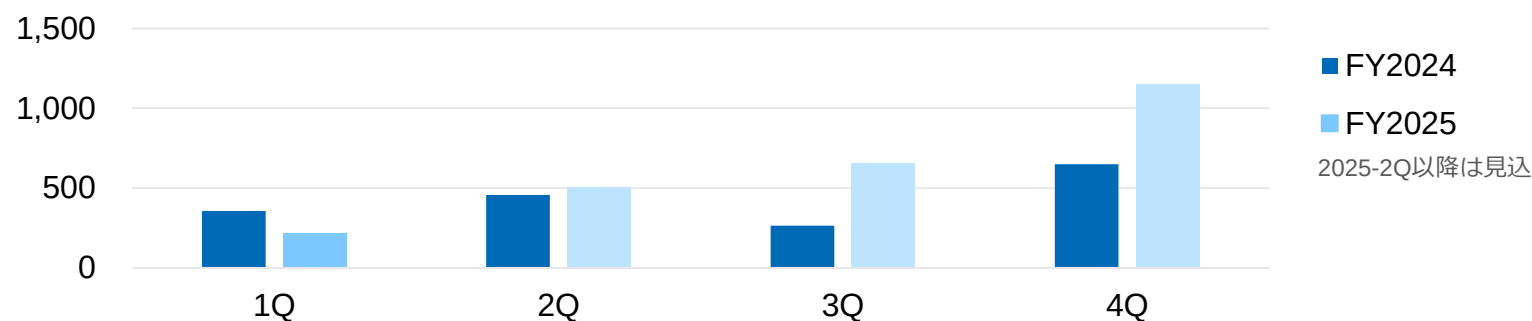
OEMルーター開発、監視カメラ組込用OEMルーター開発等、リピートオーダー等により前期比大幅増加(+372%)。

そ
の
他

前期減少(△58%)。2024年度開始したサーバービジネスの立ち上げに注力。

(百万円)

QTR推移（AIOT事業売上）



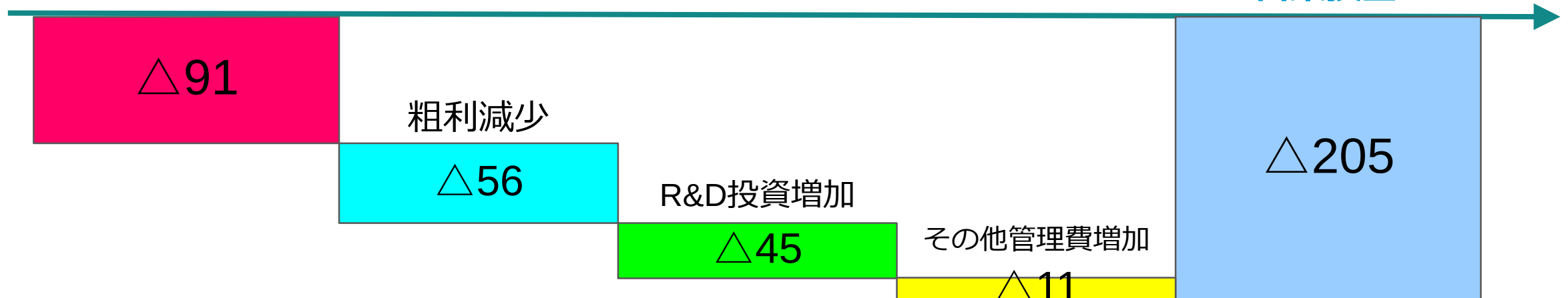
‘25年12月期1QTR業績のポイント⑤

▶ 営業損益変動内訳

- ▶ 前期比減収（△23%）、粗利減益（△12%）も、粗利率は改善（51%→59%）。
- ▶ R&D投資、前期比増加（同+18%）、新製品開発に積極的に投資実施。
EVパネルおよびカメラ向けV-by-One[®]HS新製品開発、新規電源製品開発、世界初光半導体(AI光コンピューティング向け)技術開発、エッジAI処理用モジュール製品開発、通話機能付きGW新製品開発、スマートIoTルーター等にトータルで¥296Mを効率的に投資。
※ 総務省より受託した5Gを遥かに超える高速無線通信技術開発は当期も継続（費用は一部総務省負担）。

FY2024-1QTR
営業損益

FY2025-1QTR
営業損益

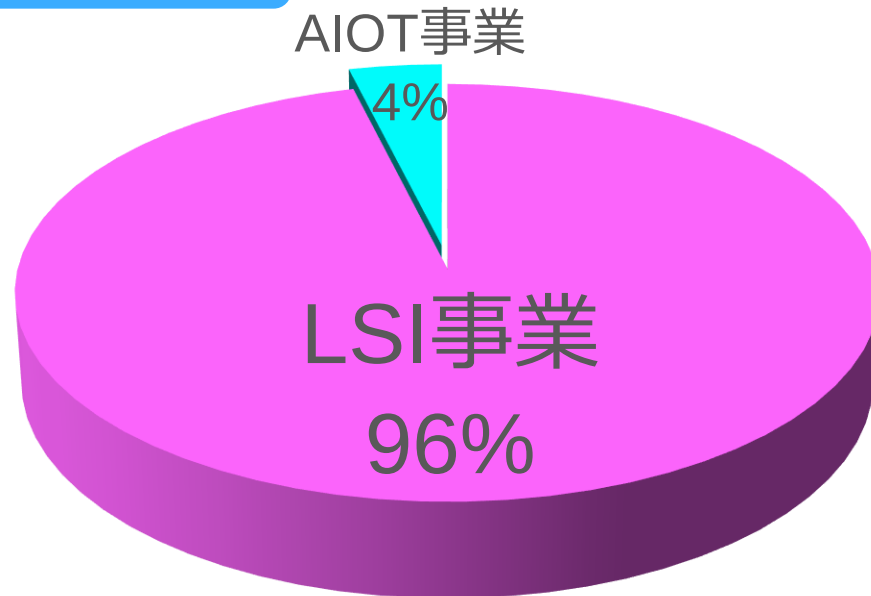


（単位：百万円）

'25年12月期1QTR業績のポイント⑥

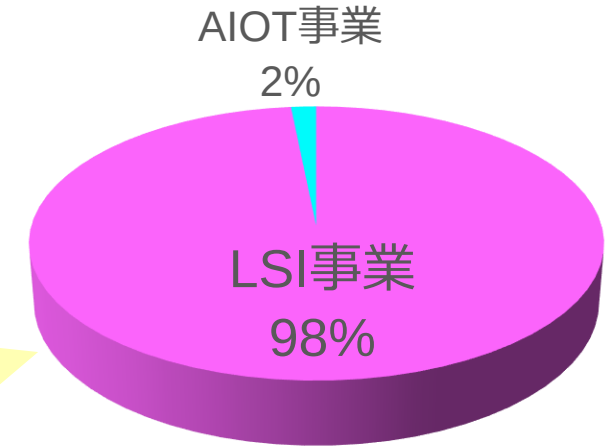
- ▶ 研究開発の状況
- 新中期経営戦略『Innovate100』の実現に向けて総額**13億65百万円**（前期比+18%）の投資を計画

'25年計画



FY2025-1QTR実績

- **2億96百万円**の投資実施
- 計画進捗率 22%
- 前期比 118%



『Innovate100』の目標達成に向けた重要技術開発

- EVパネル・カメラ向け等V-by-One[®]HS製品
- 新規電源製品開発
- 世界初光半導体(AI光コンピューティング向け)技術開発
- エッジAI処理用モジュール開発
- 音声通話機能付きゲートウェイ製品開発
- スマートIoTルーター開発
- スマートモジュール活用ソリューション開発
- 1000Gbpsを見据えた（beyond 5G）無線通信技術開発、等

'25年12月期1QTR業績のポイント⑦

▶ 資産・負債及び純資産の概要（2025年3月末日）

（百万円）

資 産	負 債 純 資 産	
	'25-1QTR末	'24末
現預金	7,459	7,306
売掛金	418	1,144
棚卸資産	883	842
その他流動資産	238	264
有形固定資産	164	161
無形固定資産	59	55
投資その他	898	554
資産合計	10,121	10,329
買掛金	139	289
その他流動負債	291	306
固定負債	236	141
株主資本	8,887	9,309
その他包括利益累計額	369	79
新株予約権	82	73
非支配株主持分	114	130
負債純資産合計	10,121	10,329

▶ '25年末保有の米ドル建現預金残高： 約US\$12M

‘25年12月期1QTR業績のポイント⑧

▶ キャッシュフローの概要（2025年1QTR） （百万円）

	FY2025-1Q	FY2024-1Q
営業CF	328	140
投資CF	113	△42
財務CF	△166	△204
換算差額	△122	91
期首残高	7,306	7,377
期末残高	7,459	7,362

▶ 税金等調整前純損失、売上債権減少、等

▶ 投資有価証券売却、等

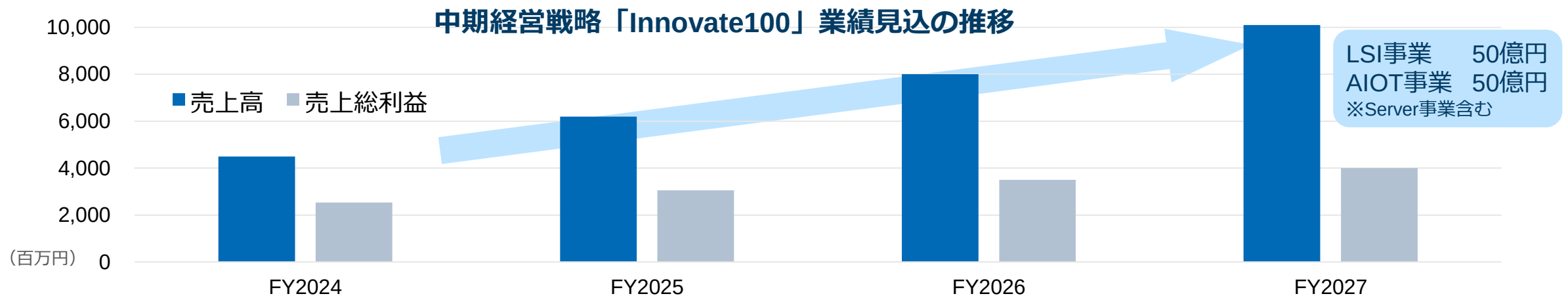
▶ 前期配当金支払い、等

▶ ¥158→¥149（2025年1QTR末）

新中期経営戦略「Innovate100」（2025-2027）

▶ 企業価値の向上に向けて

◆ 新中期経営戦略「Innovate100」を策定し、目標年度2027年12月期において連結売上高100億円超を目指します。



新中期経営戦略「Innovate100」（2025-2027）

▶ 新中期経営戦略「Innovate100」の概要

◆ 基本戦略

THineグループ3事業（LSI/AIOT/Server）を通じてAI社会実装の加速と共に、光半導体等を通じてデータセンター消費電力の拡大抑制に貢献していく方針です。

また、コラボレーションやアライアンスを一層重視し、M&Aやパートナー企業とのwin-win協業の機会をさらに強力に模索して参ります。

◆ 具体的な取り組み

- AIプロセッサ搭載ソリューションビジネス立上げ
- DX-IoT向け配線集約用半導体の大規模適用
- EdgeAI-Link[®]によるエッジAIソリューション等のDX支援事業
- 光半導体（独自のDSPレス技術、超低消費電力、超低レイテンシー）技術開発
- AIセンシングの起点となるスマートメーターに向けた無線通信技術展開
- 車載機器・産業機器における機器とクラウド連携する無線通信ソリューションの適用加速
- 通信キャリア向けビジネス展開
- AIサーバー等、サーバー事業の拡販加速

◆ グループ3事業間のシナジー強化

当社グループのAIOT中核企業である「キャセイ・トライテック株式会社」を2025年7月1日付で
「ザイン・モバイルテック株式会社」に社名変更し、ザイン（THine）ブランドのシナジー効果向上



新中期経営戦略「Innovate100」（2025-2027）

▶ 2025年12月期通期業績見通し

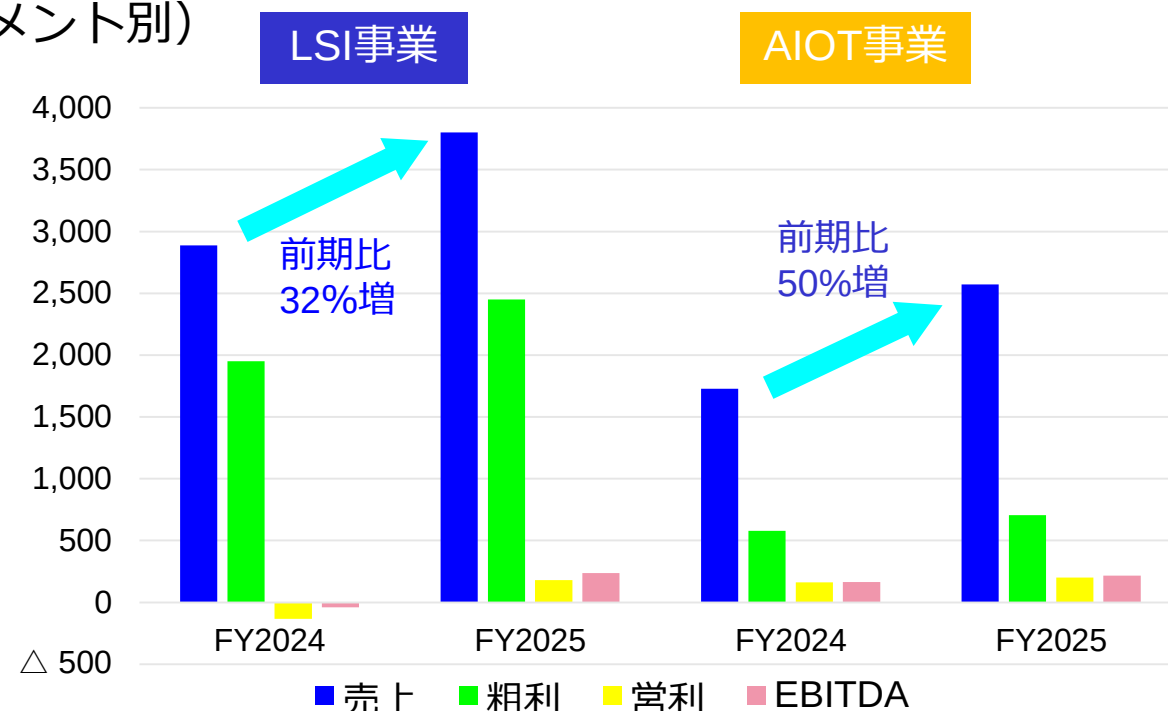
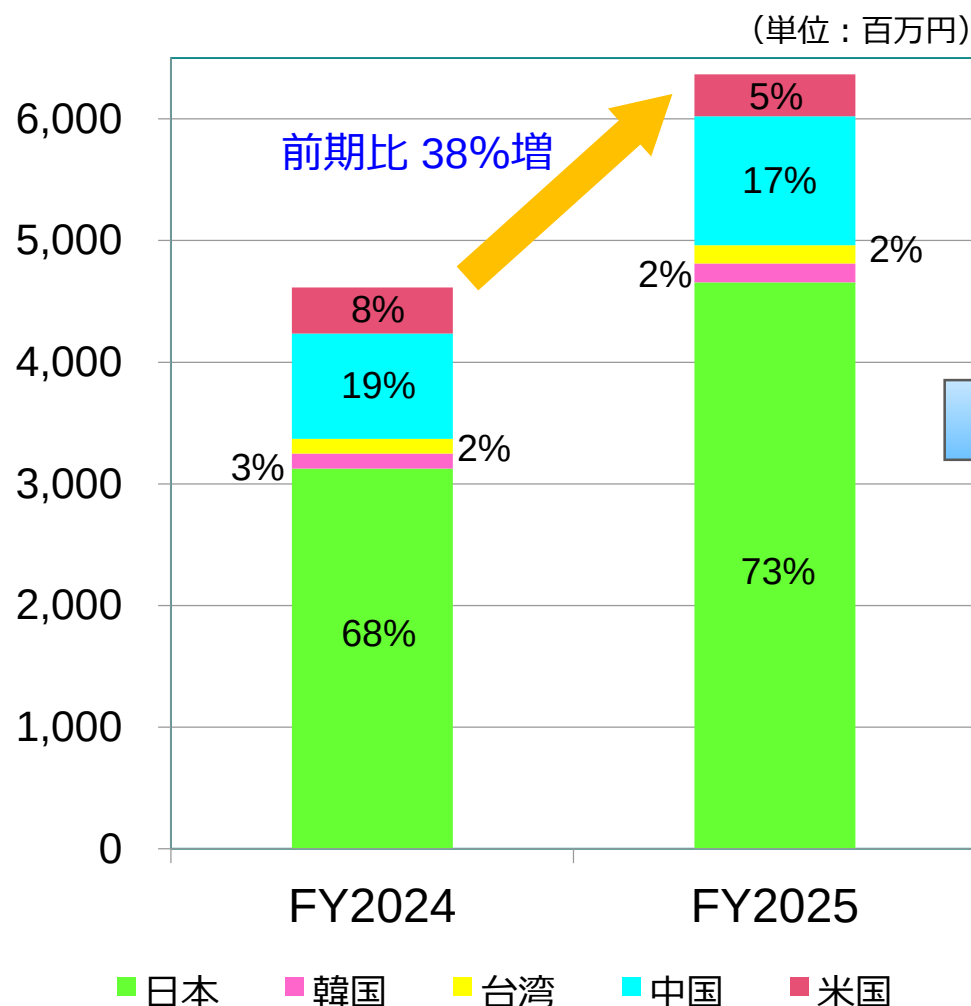
当期より新たな中期経営戦略『Innovate100』をスタートいたします。目標年次（2027年度）において売上高100億超の実現を目指します。

（百万円）

	2025年度見通し			2024年実績		2023年実績	
		構成比	前期比		構成比		構成比
売上高	6,366	100.0	138.0	4,614	100.0	5,018	100.0
売上総利益	3,150	49.5	124.6	2,528	54.8	2,435	48.5
販売管理費	2,768	43.5	110.7	2,500	54.2	2,476	49.3
（うち研究開発費）	1,365	21.5	118.3	1,154	25.0	1,102	22.0
営業利益	381	6.0	1360.5	28	0.6	△40	△0.8
EBITDA	455	7.2	363.4	125	2.7	173	3.5
経常利益	360	5.7	136.2	264	5.7	71	1.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	301	4.7	88.9	339	7.4	△69	△1.4

新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

▶ 2025年12月期通期業績見通し (地域別・セグメント別)

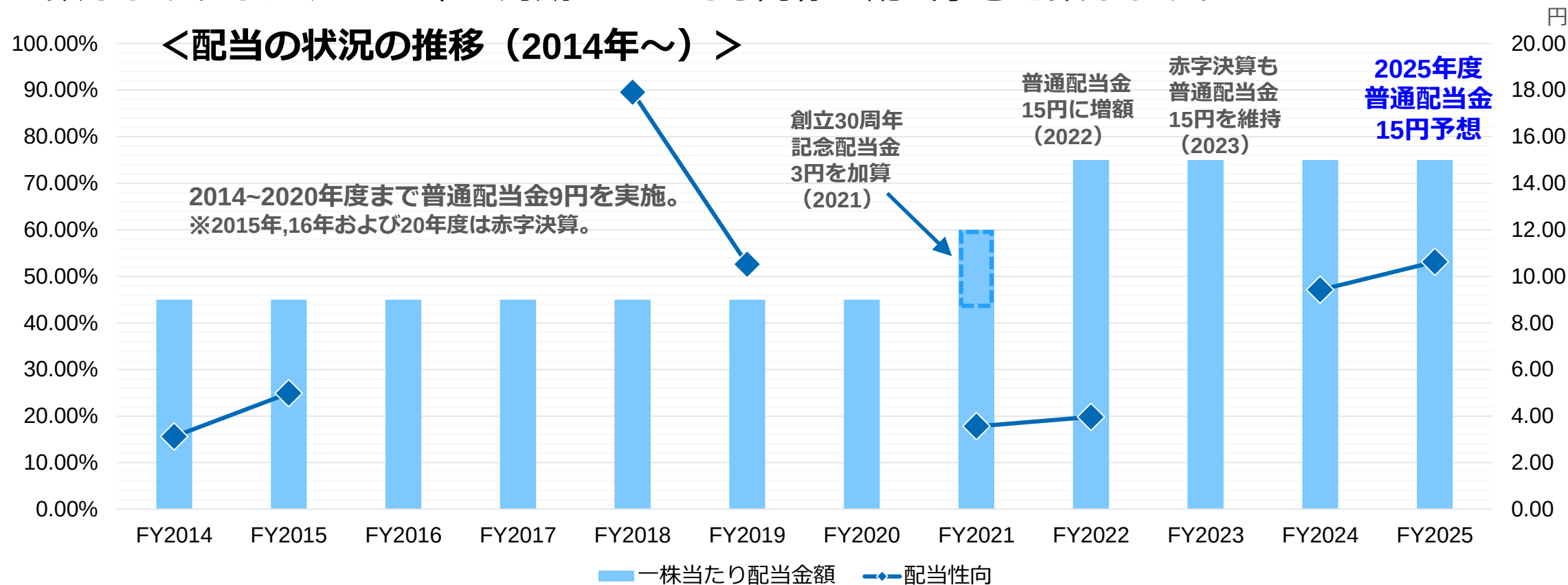


- ▶ LSI事業はOA機器市場向けの回復および中国・米国を中心とした海外市場でのさらなる成長により前期比32%増加を目指します。
- ▶ AIOT事業はドライブレコーダ・自販機・エレベータ・AED等向け等に加え、スマートメータ案件の本格立上げに注力します。またサーバー事業の立ち上げを加速させ、前期比で50%の増加を目指します。

新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

▶ 株主の皆様への還元方針

新中期経営戦略「Innovate100」の実現に向けて取り組み、今後の成長を踏まえて株主の皆様への還元を実施して参ります。2024年度については従来予想通り1株当たり15円の配当を実施致します。また、2025年12月期についても同様に配当予想と致します。

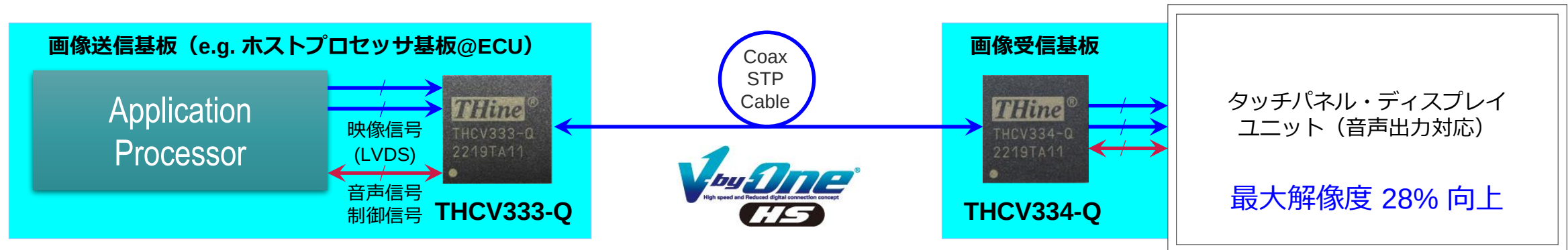


新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

▶ 車室空間のユーザー体験を拡げる：タッチパネル向け省配線ソリューション

車載・産機組み込みパネル向けV-by-One®HS技術応用 新製品出荷開始

- ▶ フルHD60fps超の映像・タッチパネル制御・音声信号を1チップのみで送受信可能
- ▶ 車載業界における従来他社代表製品と比べて最大データ伝送量およそ28%向上 Open LDI(LVDS)対応SerDesとして業界最速クラス



①車載用組込タッチパネル

- ▶ インフォメーションディスプレイ
- ▶ リアシートエンターテインメント
- ▶ カーナビゲーション
- ▶ ディスプレイオーディオ



②産業用組込タッチパネル

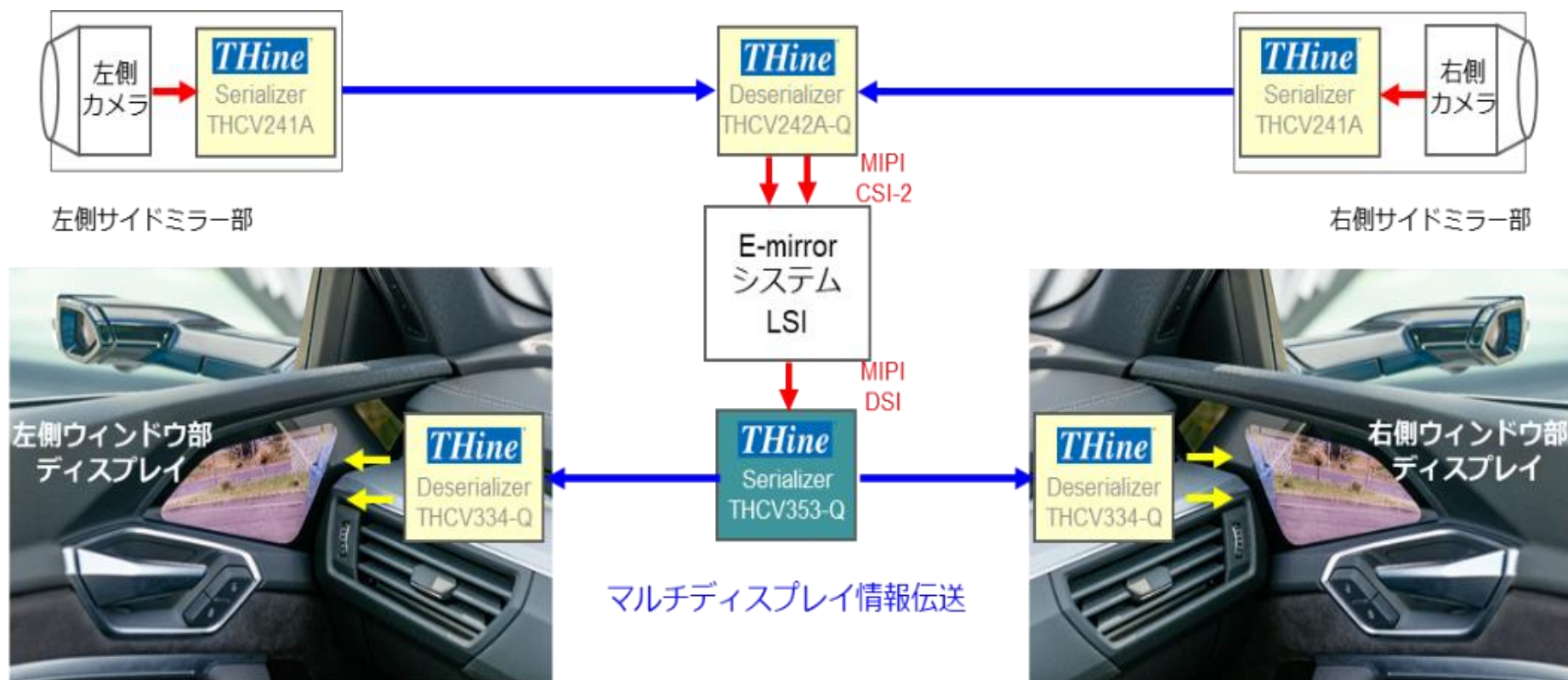
- ▶ HMI/プログラマブル表示機
- ▶ タッチパネル自動販売機
- ▶ エレベータ筐体内パネル
- ▶ 交通系モニタ

新中期経営戦略「Innovate100」(2025-2027)

▶ 車室空間のユーザー体験を拡げる：マルチディスプレイ向けソリューション

車載・産機組み込みパネル向けV-by-One®HS技術応用 新製品出荷開始

- ▶ 簡素な車載システムにより、左右サイドミラー部のカメラ映像を左右ウィンドウ部のディスプレイに出力可
- ▶ 優れたタッチパネル応答性能を実現、音声データも動画像データと合わせて同じケーブルで伝送可



新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

▶ 医療用カメラの革新に貢献

医療用カメラ対応ソリューションの拡販

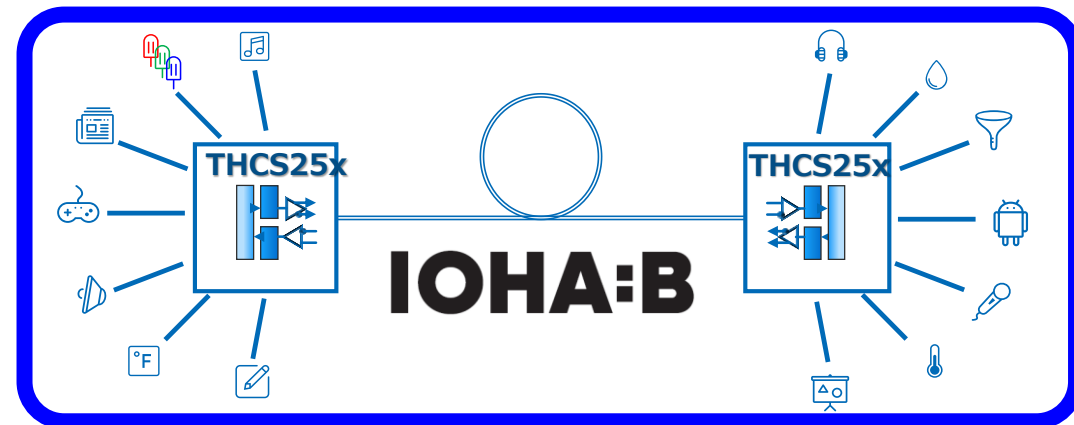
- ▶ 高解像度 **4K内視鏡カメラ**の実現に貢献
- ▶ 超小型V-by-One® HS製品によりシステム操作部までの数メートルにわたりケーブル1本で伝送可能
- ▶ 画像処理用LSI併用も可能
- ▶ 顧客側AI機械学習により、フルHD内視鏡カメラ、ハイビジョン内視鏡カメラに比較して、早期癌の識別に貢献



新中期経営戦略「Innovate100」(2025-2027)

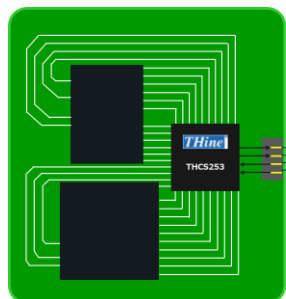
▶ DX-IoTセンサー信号統合ソリューションに貢献

IOHA:B シリアル・トランシーバ新製品を量産開始

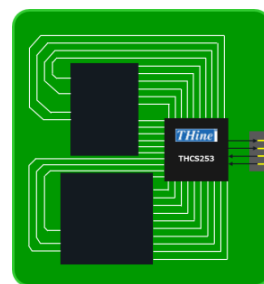
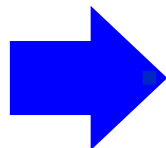
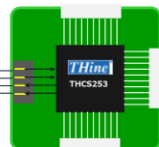


DX-IoT Platform with THine

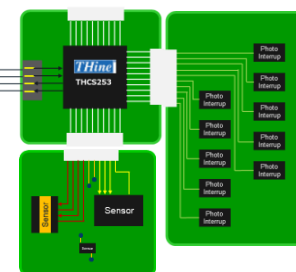
システム本体基板



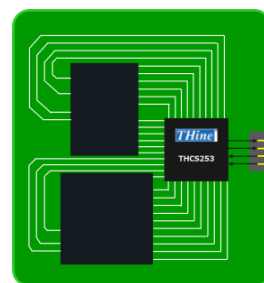
個別機能基板:
各種センサ,
タッチパネル等



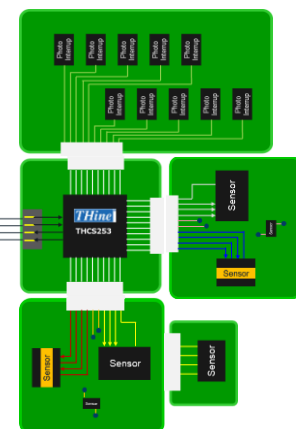
ユースケース①



カメラセンサ、加速度センサを接続



ユースケース②



上記のカメラセンサの接続位置を
変更し、加速度センサを外し、
圧力・温度センサとパネル用タッチ
センサを接続

回路設計も
変更も不要

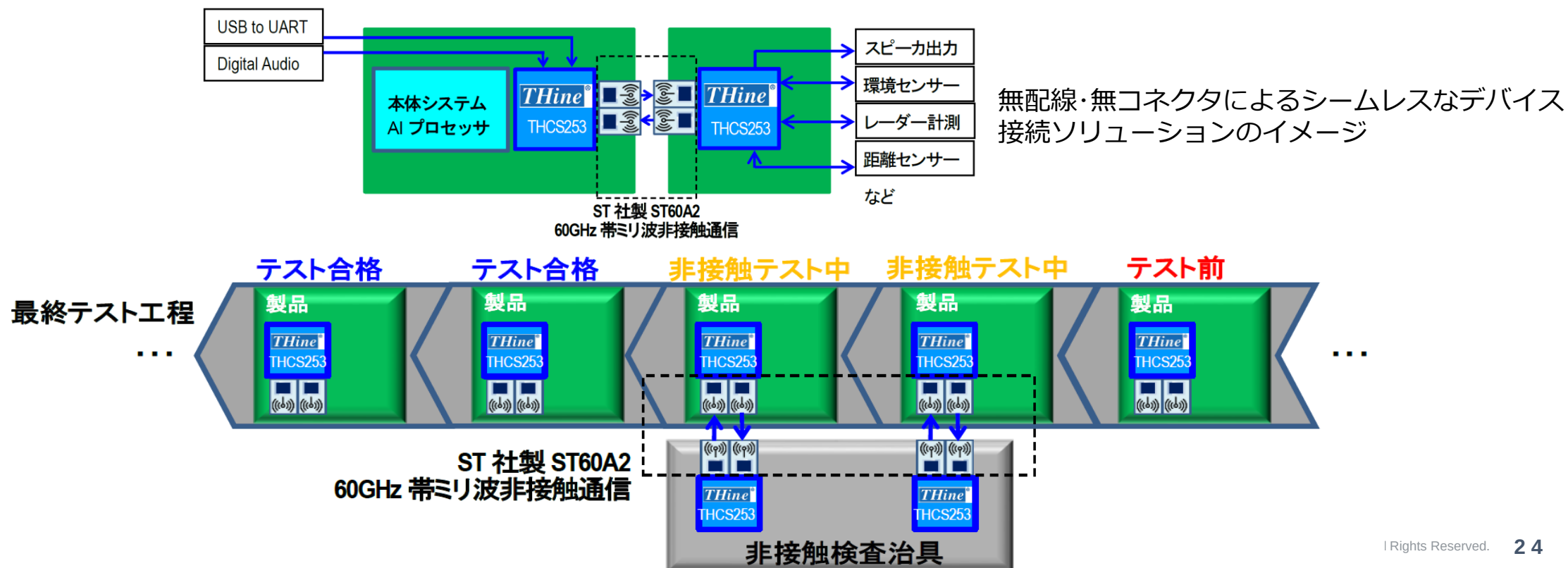
新中期経営戦略「Innovate100」（2025-2027）

▶ 非接触データ通信のユースケース進化への貢献

STマイクロエレクトロニクス社（ST社）の高速近接無線技術とのコラボレーション

- 当社の**高速情報伝送技術**とST社の60GHz帯ミリ波を使用する**高速近接無線技術**と組み合わせることにより新たな高速伝送アプリケーションの進化をサポート

基板対基板の非接触接続やコネクタ不要のソリューション等の新しいユースケースの実現が可能に。



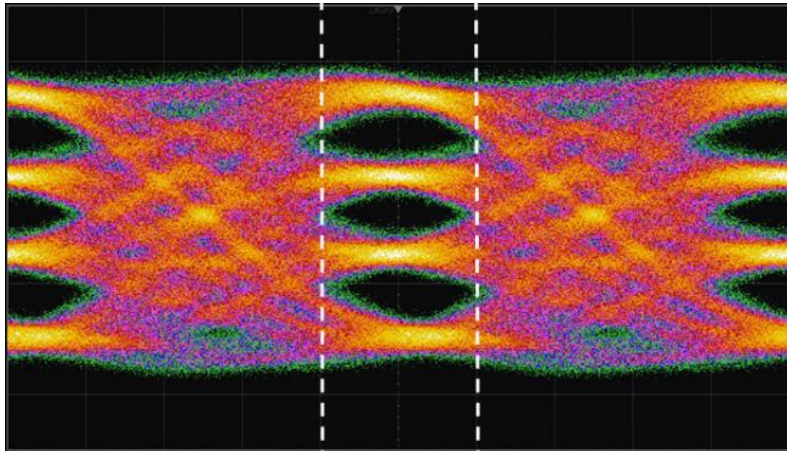
新中期経営戦略「Innovate100」(2025-2027)

▶ 生成AIで拡大するデータセンター消費電力削減等への貢献

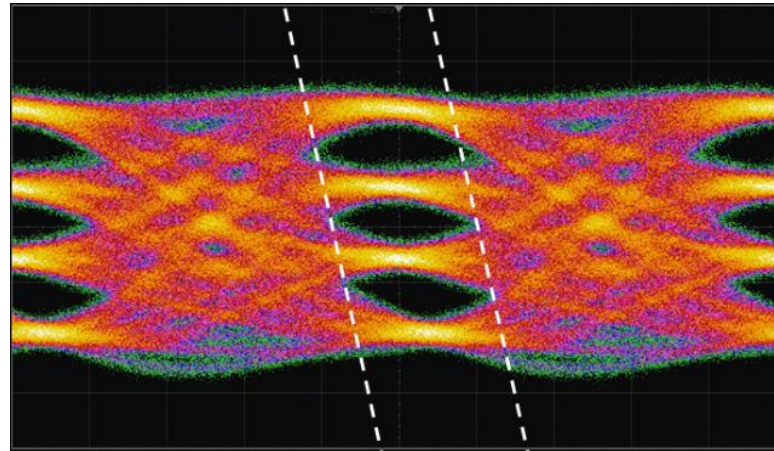
AI光コンピューティング(PCI Express 7.0)向け光半導体技術 ZERO EYE SKEW™ の開発に成功

- ▶ 次々世代PCI Express 7.0向け **2TB/s通信時の消費電力80%削減**、遅延時間90%削減を可能化
- ▶ DSPレスでVCSELに対応し、超高速性能、超低消費電力、超低遅延、高密度化、低コスト化を実現
- ▶ 世界最大の光通信技術展OFC2025に出展、大きな反応を得る
パートナー企業、潜在顧客各社に加え、AI光コンピューティングの
主体となるシステムベンダ達とも交流、仲間作り加速中

ZERO EYE SKEW™技術を適用した波形特性



ZERO EYE SKEW™技術を適用しない波形特性



OFCにおけるZERO EYE SKEW™技術のデモ

※ZERO EYE SKEW™技術を適用することにより、アイパターン開口(目が開いているように見える黒い部分)が斜めにズレる現象(Skew発生)が抑制され、優れた信号品質が維持されることが示されています。(両図とも5-tap FFE (Feed Forward Equalizer) 処理後のアイ開口。)

新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

▶ Beyond 5G・8Kソリューション、Beyond成長力の創出！

1000Gbpsを見据えた（5Gを遥かに超えるBeyond5G）、高速無線通信技術開発への取り組み

世界初のミックスドシグナル広帯域ベースバンドによる超高速低消費電力20Gbps情報伝送技術

国立研究開発法人
情報通信
研究機構

Ministry of Internal Affairs
and Communications

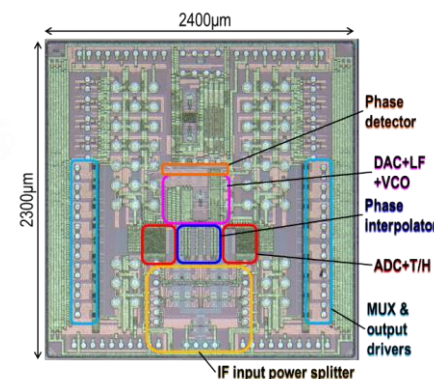
総務省

国立大学法人
広島大学

国立大学法人
名古屋工業大学

学校法人
東京理科大学

THine



多くの分野への応用が期待

- 遠隔医療診断
- e-Sports
- 8K TV、等

2023年5月Wireless Technology Parkにおけるデモ
(於 東京ビッグサイト)



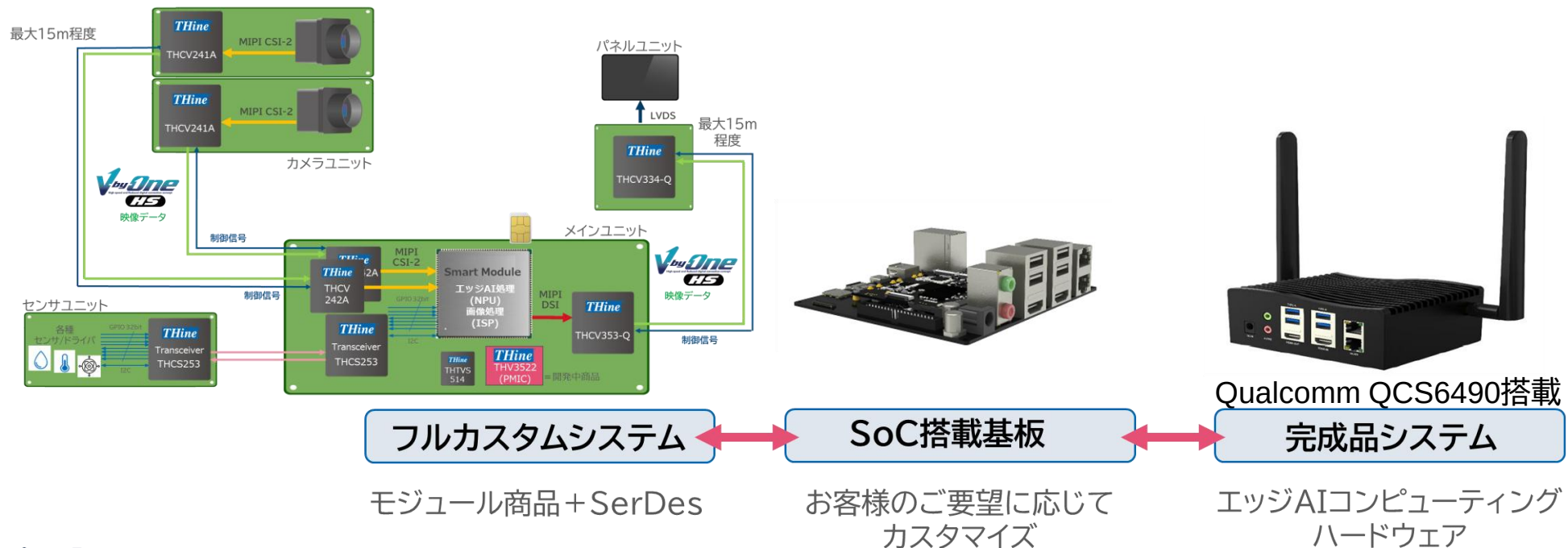
新中期経営戦略「Innovate100」(2025-2027)

- ▶ 情報伝送技術の価値によりスマートに「つなぐ」+スマートに「判断する」

EdgeAI-Link®ワンストップ・ソリューション(クラウド連携可能エッジAIソリューション)

EdgeAIシステム開発期間を抜本短縮、トータルコスト抑制に貢献

- 3.5~12TOPSに対応(高速化ラインアップ拡充可)
- フルカスタム、SoC搭載基板、エッジAIコンピュータなど多様な形態により提供可能
- 顔認証、AIカメラ搭載サイネージ、店舗マーケティング、防犯、ドライブレコーダ等に適用可能



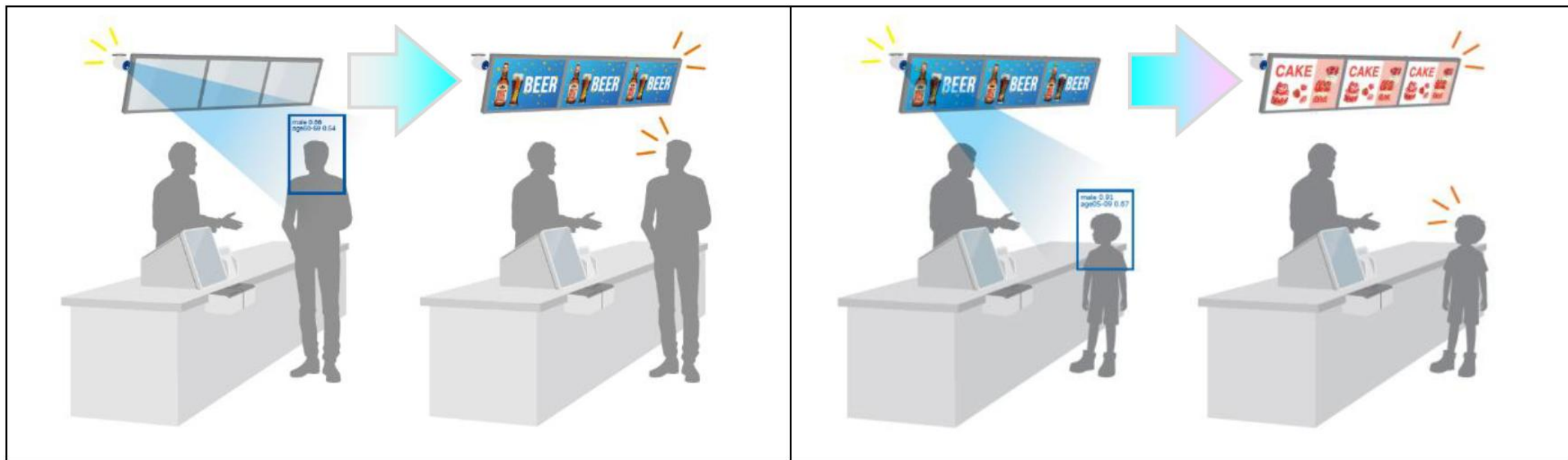
新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

- ▶ 情報伝送技術の価値によりスマートに「つなぐ」 + スマートに「判断する」

AIサイネージ向けEdgeAI-Link®ワンストップ・ソリューション

EdgeAIソリューションにより店舗販促AIサイネージ・ソリューションを提供

店舗販促AIサイネージ・ソリューションの動作イメージ
(コンビニエンスストア内設置時の顧客属性に対応したコンテンツ表示イメージ)



新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

▶ 各種機器のIoT接続への貢献

LTE/BLE Gateway CTG-B01/B02

■ 製品概要

CTG-B01／CTG-B02は各種BLEセンサー機器のデータを収集しLTE回線にてデータ送信可能なBLE／LTEゲートウェイで、LTE回線の種類により、Cat.M、NB-IoT用CTG-B01、Cat.1bis用CTG-B02の二種類を揃えています。BlueX Micro社が提供する開発環境を利用し各種BLEセンサーに対応するカスタムアプリケーションの開発が可能です。GNSSレシーバー機能、外部アンテナによるLTE接続機能も工場生産オプションにて対応します。



項目		CTG-B01／CTG-B02	
左側面 コネクタ	アプリケーションソフトウェアコネクタ	①	SWDインターフェース
表面インジケータ	電源	②	白
	LTE通信	③	青
	アラーム	④	赤
	BLE通信	⑤	緑
右側面 コネクタ	SIM コネクタ	⑥	Nano SIM push-push タイプ
	USB給電 コネクタ	⑦	Type-C
上側面コネクタ	外部RFアンテナコネクタ	⑧	SMA・メス オプション選択時有効
動作時 平均消費電力	アイドル状態	CTG-B01	約60mA@5V DC
		CTG-B02	約50mA@5V DC
	通常動作時	CTG-B01	約80mA@5V DC
		CTG-B02	約60mA@5VDC
動作環境	温度		0 ~ 40℃
	湿度		30 ~ 80%
保存環境	温度		-10 ~ 55℃
	湿度		30 ~ 80%
サイズ	縦×横×高さ		111.5 × 77 × 25.5 (mm)
重量			約105g

新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

▶ 各種機器のIoT接続への貢献

SIMO Cloud SIM対応SIM6600-eM2



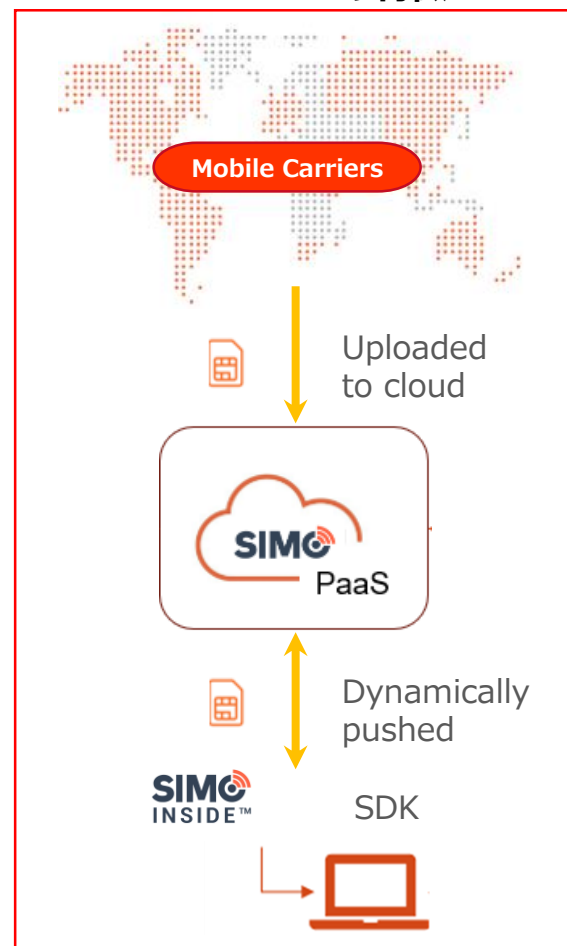
通信モジュール
SIM6600-eM2

SIM6600-eM2は、Androidシステムを搭載したLTE Cat.7対応のスマートモジュールです。
MTKの4コア64ビットARM Cortex-A53プロセッサを採用し、最大2.0GHzのクロック速度とIMG GE8300 GPUを搭載しています。
LTE-TDD/LTE-FDD/HSPA+などの無線通信モードに対応し、下り最大300Mbps、上り最大150Mbpsの通信速度を実現します。

■ 主な機能

- ◆ 標準 M.2 インターフェース
- ◆ 組み込み型eSIM (2.6mm × 2.4mm)
- ◆ MTK 4 コア 64 ビット ARM Cortex-A53 プロセッサ
- ◆ 高スループットデータ通信
- ◆ LTE、UMTS ネットワークに対応し、グローバルカバー範囲をサポート
- ◆ 豊富なソフトウェア機能：バーチャル SIM、FOTA など。

SIMO Cloud SIMの特徴



応用商品のメリット

日本の全てのキャリアネットワークに接続できるので、災害により利用中のネットワークが障害発生時、自動的にその他のキャリアに切り替えます。

- ◆ SIM差し込み不要で、キッティング作業を大幅に削減
- ◆ 最適な回線を自動で選択し、常時オンラインを実現
- ◆ グローバル・キャリア回線も対応、海外でも使用可
- ◆ 多種多様な製品で利用可能
- ◆ リーズナブルな料金プラン

SIMO Cloud SIM対応製品例

産業用ルーター
WiFi4/VPN



ドングル
内蔵アンテナタイプも提供可



タフネスタブレット



MiniPC
Windows11/
Linux Ubuntu



IP カメラ
PoE対応



CPE
WiFi6

新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

▶ 各種機器のIoT接続への貢献③

ビデオコール端末 CTV-003



らくらく設置

かんたん設定

シンプル操作

■ 仕様/本体(スタンド付き)

通信方式	LTE(VoLTE)
ディスプレイ	8 インチ WXGA
タッチパネル	静電式マルチタッチパネル
リモコン	特小無線
サイズ	235(W) x 195(H) x 65(D) mm
電源	AC100~240V
重量	0.9 kg
動作温度	0℃~40℃

■ 製品の特徴 (LTE回線網対応)

医療・福祉分野での利用シーンを想定した機能を搭載かんたんビデオコール端末

<タッチフォン>

- ◆ いつでもどこでもつながりあえる便利さ
 - ・ 外出先、遠隔地、LTE回線のビデオコールなら、いつでもどこでもつながります。
- ◆ 子供やお年寄りにもやさしい操作性
 - ・ タッチパネルでワンタッチ、
 - ・ リモコンでワンプッシュで誰にでもかんたん。
- ◆ 顔の見える安心コミュニケーション
 - ・ 表情はもちろん、手振りなど助きも見える安心が、生活のさまざまなシーンを支えます。

■ シンプルリモコン

赤外線に比べ壁や遮へい物の影番を受けにくい特定小電力無線を採用。

■ バッテリーを搭載

電源なしでも一定時間はビデオコール可能なので、急な停電時でも安心。

■ リダイヤル発信/自動着信機能

ビデオコールを自動で開始する「自動着信機能」や、相手と通信を開始するまで発信を繰り返す「リダイヤル発信」など、医療・福祉分野での利用シーンを想定した機能を搭載。

* 通常の電話機としても利用可能。

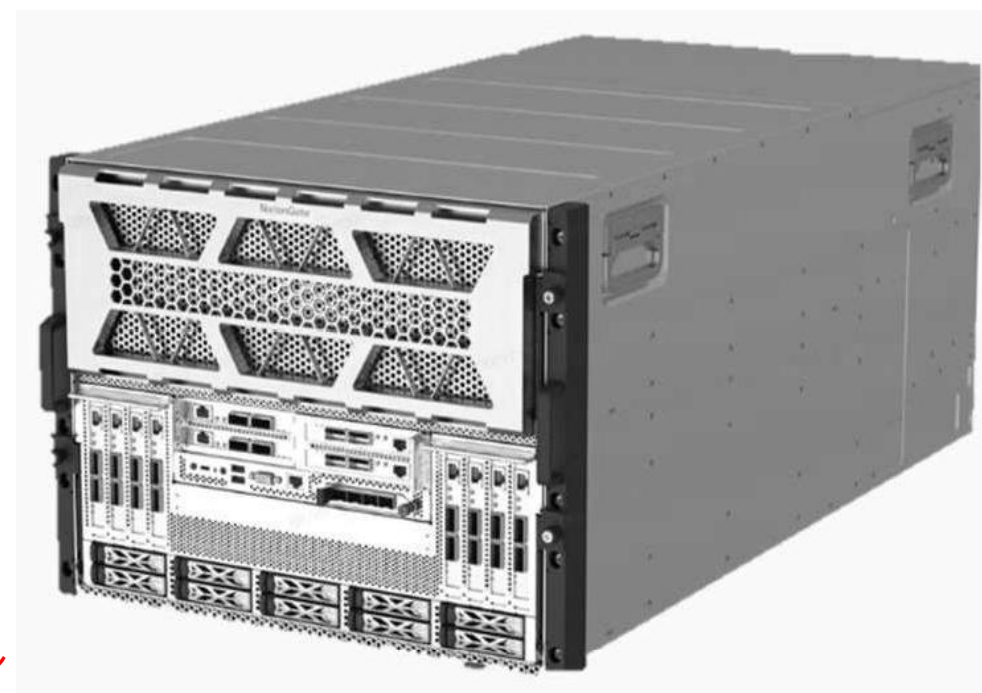
新中期経営戦略「Innovate100」（2025-2027）

- ▶ LSI, AIOTに次ぐ第3の事業の柱を確立、サーバー事業の立ち上げを加速

サーバー事業子会社「ザイン・ハイパーデータ株式会社」を設立

- 2025年4月、米中問題に起因する当社事業環境変化に鑑み、合併契約を解消し当社100%子会社化を実現。
- AIOT事業との親和性を活用し、日系企業・研究機関に対してサーバー事業を通じてAI等計算資源の活用に貢献
- NVIDIA製GPU 搭載のAIサーバーを含む各種サーバー機器の販売開始

TA-8140 8U AI サーバー（2024年）
Nvidia H100/H200 HGX GPU搭載モデル



新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

▶ SDGs目標への貢献 (社会貢献)

Interface to the Future - Solution by Smart Connectivity -

スマートに「つなぐ」ことにより、地球的負荷削減への貢献を目指します。



- ✓ V-by-One[®] HS plus Standard提供を通じた高精細ディスプレイの省電力化などによるエネルギー削減への貢献
- ✓ 車載センサー画像のスマート伝送への貢献
- ✓ 高速伝送技術によるケーブル本数削減への貢献
- ✓ 電源システム熱効率改善によるエネルギーの削減への貢献
- ✓ AI・IoT技術による人的・物的移動エネルギーの削減への貢献

Interface to the Future

- Solution by Smart Connectivity -

URL <https://www.thine.co.jp/>

【お問合せ先】

〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町9-1

総務部IR担当（TEL: 03-5217-6660）

本資料に記載されている見通しや業績予想などのうち、歴史的事実でないものは現在入手可能な情報から得た当社の経営陣の判断に基づき作成しております。実際の業績は、当社の事業領域を取り巻く国内および海外の経済・金融情勢等、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おきください。また、本資料に記載されている各企業名、製品名等は、それぞれの所有者の商標あるいは登録商標です。